

福岡県議会議員（久留米市選出）

# 中村かつき 県政報告

中村かつき

#05

〒839-1233 福岡県久留米市田主丸町田主丸459-2  
TEL 0943-73-3755 FAX 0943-73-3588



## ご挨拶



お陰様で元気に議会活動を続ける事ができております。  
令和4年9月議会のご報告を申し上げます。

9月議会が1ヶ月余に亘る長い定例会であるのは、一般審査に加え決算特別委員会が設置されるからです。過去の予算執行の具合を検証し、次年度の予算編成に生かすための方で、私も昨年に続き2年連続でその委員に選出されました。（質疑内容は裏面に掲載）

今議会の知事提出議案は26件で、そのうち私が最も注視した議案は、「物価高騰対策などの総合緊急対策」や「新型コロナウイルス感染症対策」をはじめとした補正予算関連でした。その後物価高騰の追加補正も提案され、補正予算総額873億3000万余を含め、すべての議案を可決しました。

また、来年の統一地方選を迎える福岡県議会議員の「議員定数条例」も可決され、2増2減の結果、新たな選挙区として「久留米・うきは市選挙区」が誕生しました。これからも、残された任期を精一杯がんばってまいります。

福岡県議会議員 中村香月

## 耳納山麓災害 8月24日の「記録的短時間大雨情報」発表下の被害箇所調査



谷そばの市道は跡形もなし



柿畑のコンクリート擁壁を壊し侵食を拡大する谷



林道善院線はまるで干上がった川底



治山ダムは一気に埋まりオーバーフローした瓦礫が散乱

気象庁によると、久留米市付近ではレーダーによる解析で午後9時40分までの1時間に120ミリの猛烈な雨が降ったと発表

## 9月補正予算の概要

### コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策

#### ■事業継続の支援

- ★ワンヘルス推進につながる化学肥料低減を支援 22億9300万円余
- ★資料購入経費を支援 13億2800万円余
- ★地域の公共交通を支援 7億4000万円余
- ★県制度融資に「物価高騰特別枠」を創設 5600万円
- 修学旅行の誘致による観光事業者への支援を拡大 2200万円余
- ★公衆浴場の燃料購入経費を支援 500万円余

### 危機に強い経済構造の実現

#### ■中小企業への支援

- ★県内半導体関連企業の人材確保を緊急支援 5300万円余
- 中小企業のDXを支援 9800万円余
- 中小企業の新製品開発、低コスト化を支援 2億2200万円余
- ★FCトラックの先進拠点を構築 1億円余（西日本初）

- ★トラック運送事業者のエコタイヤ導入を支援 3億600万円余
- ★生産ラインを支える技術系人材を育成 1億600万円余

#### ■農業への支援

- ★「あまおうの匠」の技を伝承 1億3700万円余
- 配合飼料原料の生産・利用を拡大 9200万円余

### 新型コロナウイルス感染症対策

#### ■第7波における検査数や新規陽性者数を踏まえ、下半期の所要額を措置

- 入院病床、宿泊療養施設を確保 565億6500万円余
- 医療費支援、抗原定性検査キットの無料配布を実施 61億9700万円余
- ワクチン接種を促進 6億4200万円余

### 安全・安心の確保

#### ■安全・安心、地域防災力の強化

- 道路の安全を確保 59億9200万円余
- 流域治水を推進 9億9000万円余
- 土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を実施 17億4400万円余

#### ■児童虐待防止対策の強化

- ★児童虐待防止のためのSNS相談窓口を解説 2200万円余

### 地域活性化

#### ■安全・安心、地域防災力の強化

- ★「ブレイキンワールドシリーズ北九州大会」を開催 2500万円余（アジア初）
- ★動物とふれあい、学ぶ「ワンヘルスパーク」を整備 6200万円余
- ★パピオアイスアリーナの再開を支援 1億2300万円余

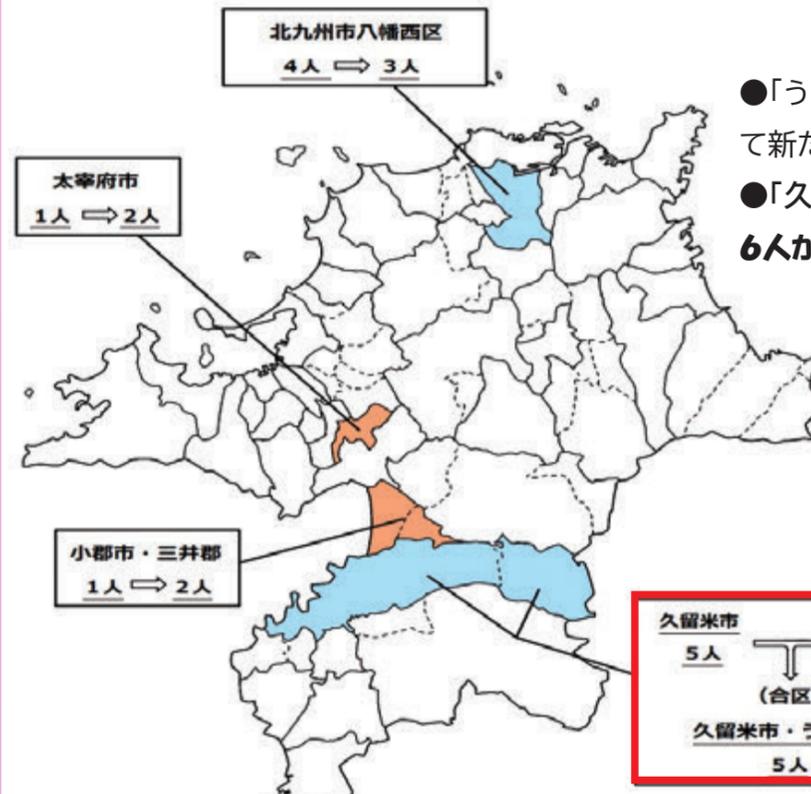
### 物価高騰対策追加補正（9月29日提案分）

#### ■医療・福祉・教育施設に対し、高騰する光熱水費を支援

- 医療施設等 37億3400万円余
- 社会福祉施設 29億5400万円余
- 保育施設 2億1100万円余
- 私立幼稚園、私立学校 2億8900万円余
- 子ども食堂 600万円
- 農業水利施設 5600万円余

★=新規項目  
●=既出項目

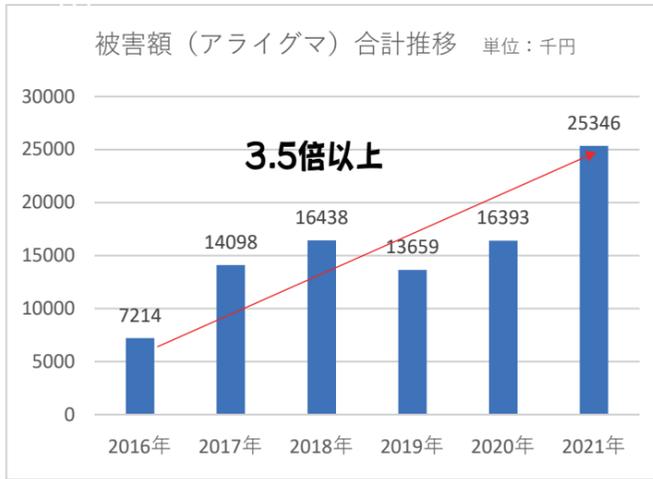
## 福岡県議会議員の選挙区と定数が変わります



- 「うきは市選挙区」と「久留米市選挙区」が合区して新たに、「久留米市・うきは市選挙区」となります。
- 「久留米市・うきは市選挙区」の定数が6人から5人へ1人減となります。



## 鳥獣被害対策について



福岡県のアライグマからの農作物被害金額は、2021年度は1500万円となっており、2016年度から比較すると3.5倍以上になっています。

また「特定外来生物法」の改正により、アライグマなどの既に定着している特定外来生物の防除は**都道府県の責務**となりました。

**POINT!**  
現在17の都道府県ではアライグマを計画的に防除するため「アライグマ防除計画」を策定しています！



福岡県のアライグマ被害は甚大なものである。本県も早急に「アライグマ防除計画」を策定し、県が主体となって広域的な捕獲を推進していくべきではないか。

### 答 弁 = 防除計画を示唆

県は、専門家や関係団体、市町村と連携しながら、効率的な生息域の把握や効果的な防除方法を検討し、人の健康や生態系への影響、農林水産業への被害状況を踏まえ、緊急度の高い種から優先的に防除を実施している。アライグマについても、この中で検討するものと考えている。さらにアライグマをはじめ定着している特定外来生物への対策を進めるに当たっては、その態様に応じて効果的かつ効率的な取組を行う必要がある。このため、これまで以上に国や市町村と連携を密にとるとともに、庁内においては、農林水産部をはじめ関係部と一層の連携を図ってしっかり対応していきたいと考えている。

## 鳥獣被害の追加対策は交付金の対象になります！！

**Q** 近年、アライグマ等中型獣類が増え、従来の対策（金網・ワイヤーメッシュ）に加え電気柵等の複合柵が必要になってきているが追加対策についても鳥獣被害防止総合対策交付金の対象となるのか。

**A** イノシシやシカ対策で既に鳥獣被害防止総合対策交付金を使用している場合でも別の獣類への対策は**再度申請可能である**。引き続き、市町村に周知を図ってまいる。

### 例えば

- イノシシ対策で  
ワイヤーメッシュ・柵の設置
- その他（アライグマ等）対策で  
電気柵の追加設置

それぞれ交付金の  
申請が可能です！

## インバウンドによる観光振興について



今年度の上半期の貿易収支は11兆75億と過去最大の貿易赤字となりました。このような状況で最も期待されるのが為替相場が1ドル=145円を超える円安を生かしたインバウンド消費の拡大によって大きな経済効果を見出す観光産業です。インバウンド消費の潜在的な市場規模は円安効果で6兆円規模ともいわれています。そこでインバウンド再開に向けたこれまでの準備、ウィズコロナ禍でどのようにインバウンド観光を振興していくのか質問いたしました。（※一部抜粋）



10月11日から

- 外国人入国者数上限撤廃
- 個人旅行の解禁
- ビザ短期滞在の免除



## インバウンド再開に向け コロナ禍の期間どのように準備してきたのか

### 01 | 受け入れ環境整備

令和2・3年度の2か年の157件の宿泊施設でWiFi環境の整備やトイレの洋式化、客室内における浴室の設置、タブレット端末等の翻訳機器の導入、施設案内やホームページ・パンフレット等の多言語表示といった取組を実施し、外国人観光客の受け入れ整備を進めてきた。

### 02 | 観光資源の磨き上げ

従来から人気のある観光地に加えて、新たな目的地を増やすため、県内6エリアにおいて、点在する観光資源をテーマで繋ぎ合わせた新たな観光エリアの創出に取り組んでいる。

**【八女・筑後エリア】**…「クラフトのまち」をテーマに、工芸品を活用した茶道体験や、久留米餅の職人とともに「あずま袋」を作る体験プログラム

**【久留米・うきは・朝倉エリア】**…「ヘルス&ビューティー」をテーマに、美容に関心がある層をターゲットとして温泉やフルーツ、花などを取り入れた体験プログラム

### 03 | プロモーション

「小石原焼の陶芸体験」など自宅に居ながらにして旅をしているような没入体験に浸ることができる「オンラインツアー動画」や多言語のウェブサイト「VISIT FUKUOKA」に加え、中国、台湾、香港、欧米向けのSNS等のデジタルを活用して旅行意欲の喚起を行ってきた。

うきは市では、アメリカのホテル大手マリオットインターナショナルが手掛けるホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・福岡・うきは」（仮称）が2023年度「道の駅うきは」に完成するなど、国内外の観光誘致に市をあげて取り組んでいる。